

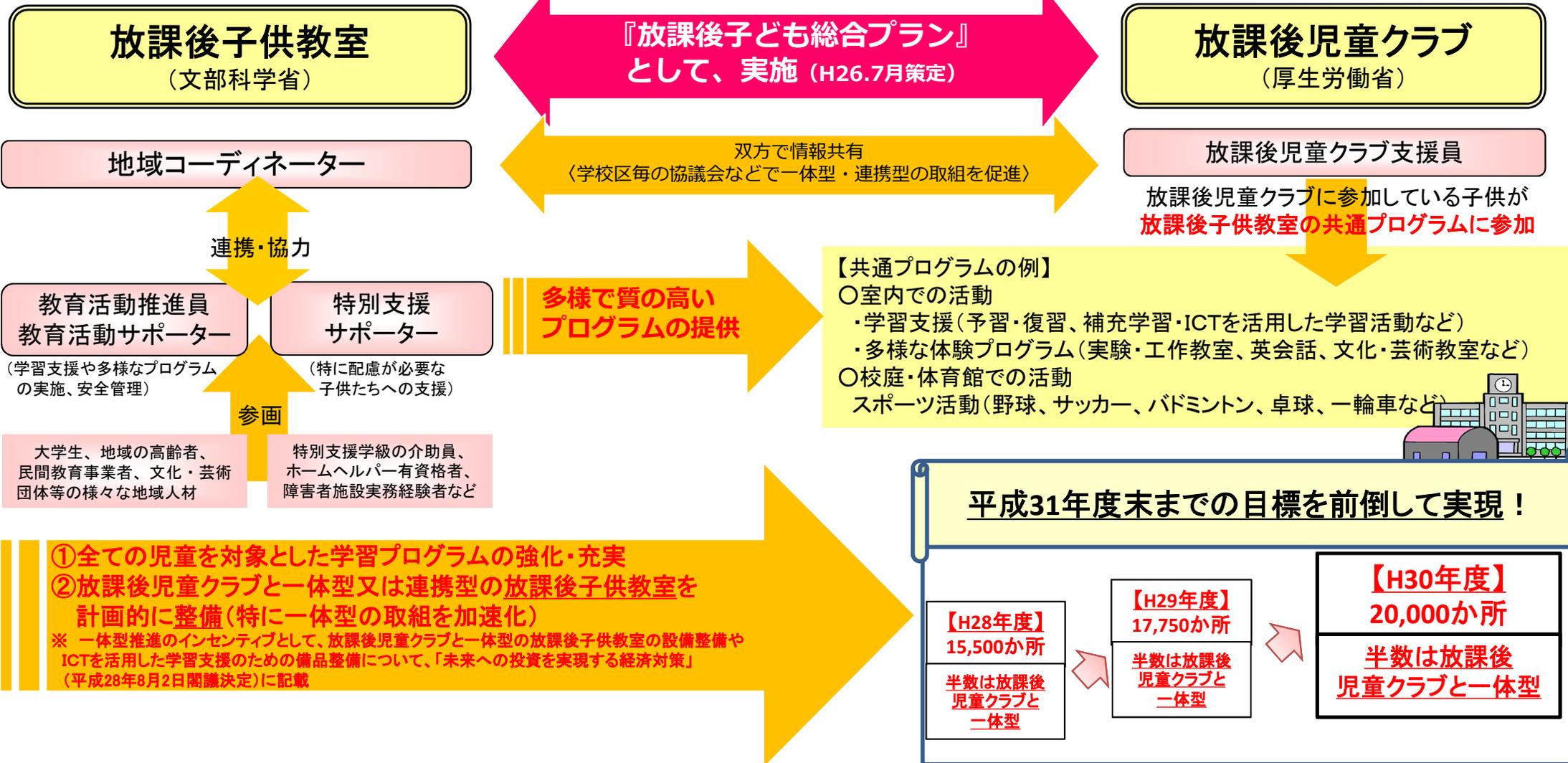
放課後子供教室 ～放課後子ども総合プランの推進～

(前年度予算額:6,295百万円の内数)
平成29年度予定額:6,435百万円の内数
地域学校協働活動推進事業の一部で実施

【補助率】

国	1/3
都道府県	1/3
市町村	1/3

共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての児童が放課後を安心・安全に過ごし、多様な体験・活動ができるよう、厚生労働省と連携して総合的な放課後対策を推進



ニッポン一億総活躍プラン(平成28年6月2日閣議決定)(抜粋)

共働き家庭等の小1の壁を打破するとともに次代を担う人材を育成するため、2019年度末までに放課後児童クラブを約122万人分整備(2014年度以降追加的に30万人分を整備)全小学校区(約2万か所)で放課後児童クラブと放課後子供教室を一体的に又は連携して実施し、うち1万か所以上を一体的に実施する。また、取組の加速化を図るため、引き続き学校施設の活用を促進するとともに、追加的な受け皿整備を2018年度末に前倒して実現するための方策を検討する。

〔特別支援サポーターについて〕

特別支援サポーターとは、発達障害を含む障害のある方を対象として地域学校協働活動をサポートする者で、元特別支援学校教諭、ホームヘルパー有資格者、障害者施設実務経験者などが想定されます。特定の資格や職業を指すものではありません。

- ◆ **すべての子供たちの放課後の安心・安全な居場所づくり**
- ◆ **特別な配慮を要する子供たちのサポート役の配置により、放課後子供教室の運営円滑化**
- ◆ **元特別支援学校教諭、障害者施設実務経験者など経験豊富な人材が参画**
- ◆ **教育活動推進員、教育活動サポーターと同様、主な経費は、活動を行う際の謝金など**

考えられる取組事例

- (1) **特別支援サポーターの配置により、すべての子供たちが多様なプログラムに参加**
 - ・放課後子供教室で提供している多様な体験プログラムに特別な配慮を要する子供たちの参加促進
 - ・教育活動サポーターとの役割明確化など、効率的な活動体制が実現
- (2) **学校と放課後子供教室の連携を強化**
 - ・学校の担当教諭と情報共有を図ることにより、子供に必要な支援内容の充実



特別なニーズのある子供たちへの放課後等の支援の充実

～都立あきるの学園(特別支援学校)における放課後子供教室～

東京都

活動の概要

・学校週5日制の完全実施を機に、特別支援学校に通う子供たちの余暇活動を充実させることを目的に実施。

活動が始まった経緯

- ・PTA主催で始まった「あきるのクラブ」と、太鼓クラブが連携し「チームあきる野」として放課後子供教室を委託運営
- ・活動に賛同してくれる企業の協力を得て実施
(学校運営協議会の委員をしている企業のCSR担当から学校にボランティアの協力について打診があり)

実施内容

- 実施日:年間22日程度(土曜日を中心に長期休業中も実施)
- 場所:あきる野学園体育館など
- 平均参加児童生徒数: 80名程度

ポイント

- 参加を希望する人は、障害の種別や年齢、障害の有無を問わない
- 特別支援サポーターにより、きめ細やかな配慮を実施
- 事故を起こさないために、事前の準備を十分に行う
〈例〉・活動人数が多くなりすぎないように班分けを行う
・全体の動きがスムーズになるような動線を確保する

取組の効果

・近隣の大学の学生や企業の方など、さまざまな地域の方の協力を得ることで、屋外での活動や多様なプログラムの実施を可能としている

主な活動事例

- スポーツゲーム



賛同企業
横河電機株式会社HPより
【風船バレー教室実施の様子】

- 外国語で遊ぼう



賛同企業 横河電機株式会社HPより【外国語で遊ぼう!】

特別なニーズのある子供たちへの放課後等の支援の充実

～柏原子ども教室 ☆い・ち・み☆～

大阪府柏原市

活動の概要

- ・学校週5日制が始まった際に、障害のある子供たちが家にひきこもることなく、他の生徒と同じように、外に遊びに行く活動をさせたいという、放課後の居場所づくりとして開始。
(平成8年度に保護者を中心とする取組として開始し、平成16年度にボランティア団体「みんな」が主体となって活動。平成19年度にNPO法人格を取得。)

実施内容

- 対象：柏原市に在住する特別支援学校、地域各小中学校の児童生徒
- 主な開催日：平日・・・放課後、土曜日・・・午前10時～12時
- 年間開催日数：50日程度(ひと月あたり平日1回、土曜日3日程度)
- 開催場所：地域の小学校の体育館や地域交流ホール

主な活動事例

- スポーツ教室(卓球、ボール運動等)、プール教室
- マインドエアロビクス(自分のペースで音楽に合わせて楽しみながら体を動かすことができるエアロビクス)
- 料理教室
- 音楽教室
- 散髪教室
- 創作教室(工作、絵画等)

【マインドエアロビクスの様子】



ポイント

- 障害児・者への支援経験及び理解がある特別支援サポーター等のスタッフが手厚く対応
- 毎月、参加希望を活動ごとに募っており、市内在住の障害のある児童生徒を対象に、月に1回教育委員会の協力のもと案内(チラシ)を配布及び郵送
- 関西福祉科学大学の学生がボランティアとして参加(参加児童生徒とボランティアが1対1になることで、参加児童生徒の安心につながり、様々な活動をとおして、経験値を増やすことができる)

取組の効果

- ・児童生徒も、慣れ親しんだ学校施設を活用できることで安心して参加ができている
- ・定期的に行うことで外に出ることが定着し、障害のある児童や保護者の暮らしやすさにつながっている